

京都主要企業の決算が出そろう

京都地区金融機関を除く主要企業の決算が出そろった。増収、つまり昨年度に比べ売上が増えた企業は8割を超えたが、減益、つまり昨年度に比べ利益が減った企業や赤字になった企業が半数を超えた。新型コロナウイルスの影響が少なくなり、市場からの需要もいくぶん回復したものの、原材料費の高騰、人件費のアップなど、コストが増える要素が多く、多くの企業で売上は増えたが利益が減ったという「増収減益」の事態となった。企業経営的には、増収減益というのは、体重が増えたが走るスピードが落ちたということで、最も嫌う現象だ。筋肉ではなく脂肪が

ついて体重が増えたことで、いい状態ではない。さらに懸念されるのは、2024年3月期の各社の予想が今期に比べ悪化すると予想する企業が多いことだ。主要な企業のうち4割が減益を予想し、利益の確保が難しい状況を暗示している。

<解説>2023年3月期の業績は、売り上げ回復の恩恵を受けた企業が多かった。電気自動車や半導体関連部品が引き続き好調で、世界的な供給網(サプライチェーン)の回復や物流業界の混乱が収束に向かいつつあることが大きい。国内市場でも、コロナの行動制限がほぼなくなり、小売業や飲食業、宿泊業などの観光需要が回復した。ただし、逆の現象も現れ、巣ごもり減少が終わったことで家庭用商品を扱う企業の業績は悪化した。また、円安の影響も大きく、この期間中に記録的な円安の1ドル=150円まで円安が加速し、輸出中心の企業では円安の恩恵を受けたが、原材料の多くを輸入に頼る企業ではマイナスの影響が大きかった。減益の原因のひとつは物価やエネルギー価格が

急上昇したことだ。金属、化成品、繊維などの原材料が軒並み上昇し、電気料金も大幅に上がった。さらに、物流費の上昇、人件費の大幅なアップもあり、収益を圧迫した。コストの上昇を末端価格に転嫁できた

企業もあったが、コストの上昇は価格アップを上回った企業が多く、売上の伸びをコストアップが上回った。懸念すべきは、2024年3月期の決算を、減益もしくは赤字と予想する企業が多いことだ。つまり、まだ多くの費用、原材料、物流費、電気代などのコストアップの傾向が続くとみている企業が多いことだ。コロナの影響は収束し、日常は戻ってきたが、簡単にコストアップの要因をカバーできる状態ではない。このままで進むと、円安の傾向も含め、さらに一層の増収減益の企業が増えることが予想される。世界的な金融危機や不況も取りざたされている。

■コロナ禍でも好業績を維持する 京都企業が多い

日本電産	パソコンや家電向けモーターが好調で売上高が過去最高に
村田製作所	スマートフォン用部品の需要が増え、最終利益が過去最高
任天堂	巣ごもり需要でゲーム機の販売が伸び、最終利益が前期比85.7%増
島津製作所	中国での計測機器販売が回復し、新型コロナウイルス検査機器も好調
宝ホールディングス	PCR検査試薬などが堅調で営業利益が過去最高
SCREENホールディングス	半導体製造装置が伸び、最終利益が前期比3倍
オムロン	制御機器や体温計が好調で営業増益
TOWA	5G需要で半導体製造装置が伸び、最終利益が前期比7.2倍

※いずれも2021年3月期連結決算

社名	売上高	当期利益
※京セラ	16,000(4.8)	1,200(3.6)
※村田製作所	11,600(11.2)	1,830(9.1)
※日本電産	11,500(11.8)	900(18.1)
※オムロン	9,000(6.2)	655(7.0)
任天堂	5,700(3.7)	350(▼16.4)
ジーエス・ユアサコーポレーション	4,000(8.2)	130(29.4)
ローム	3,880(7.0)	300(▼33.8)
島津製作所	3,300(4.9)	200(8.4)
SCREEN HD	2,480(4.4)	140(15.5)
ニチユ三菱フォークリフト	2,400(▼7.8)	45(0.4)
宝HD	2,300(4.8)	64(12.2)
※ワコールHD	2,050(6.9)	100(18.4)
三洋化成工業	1,650(▼1.2)	70(19.1)
ニチコン	1,220(13.7)	36(59.4)
日本写真印刷	1,200(1.0)	73(▼35.1)
日新電機	1,200(12.1)	65(24.0)

注：単位億円。カッコ内は前期比増減率%、▼はマイナス。※は米国基準

府内大企業内部留保

	17年度	18年度	19年度	20年度
京セラ	1兆7427	1兆8039	1兆8102	1兆8730
任天堂	1兆5780	1兆5690	1兆7222	2兆0084
村田製作所	1兆4568	1兆6144	1兆7376	1兆9075
日本電産	9407	1兆0199	1兆0390	1兆1218
ローム	7226	7370	7470	7117
オムロン	5105	5557	5557	5733
SGホールディングス	3158	3425	3744	3766
島津製作所	2332	2577	2812	2979
ワコールHD	2022	2229	2151	2105
G S ユアサ	1221	1329	1425	1512
合計	7兆8246	8兆2559	8兆6249	9兆2319

(内部留保＝日本製鋼所と利益剰余金の合計) 単位:億円